



最上エコボリスの実現
= 豊かな自然 輝くもがみ =

小国川だより

最上小国川治水対策について、お知らせします。

小さなダム・大きな仕事 最上小国川ダム

第42号

平成25年4月11日発行

山形県 最上総合支庁
建設部 河川砂防課

第11回最上小国川流域環境保全協議会開催

2月21日、新庄市民プラザにおいて、流域の環境保全について審議する「最上小国川流域環境保全協議会」を開催しました。

第11回となる今回の協議会は、11名の委員にご出席いただき、「平成24年度調査の報告、今後の調査と工事の状況」等について、ご審議いただきました。



会場：新庄市民プラザ

【審議項目】

- 1 第10回協議会における指導事項と対応について
- 2 平成24年度環境影響調査の報告について
 - 2-1 猛禽類（もうきんるい）調査
 - 2-2 ワタナベカレハ（蛾）調査
 - 2-3 植物重要種調査
 - 2-4 付着藻類調査
 - 2-5 河床状態調査
 - 2-6 流砂量調査
- 3 今後の環境調査及び工事の状況について

協議会では、県から各調査の報告の後、各委員から「猛禽類について、営巣地が工事箇所と離れているため生息に影響を及ぼすことはない。」、「昨年環境省によるレッドリストの見直し（絶滅危惧種の追加等）に合わせ再度確認すること。」等の多数のご意見やご指導をいただきました。

県としましては、いただいたご意見やご指導に十分配慮しながら、今後も対応してまいります。

※協議会の詳細についてはHPを参照してください。

<http://www.pref.yamagata.jp/ou/sogoshicho/mogami/314074/kannkyou.html>

赤倉地区の内水対策工事の状況について

最上町赤倉地区の内水被害の軽減策について、地元住民・最上町・山形県（道路・河川）が連携して総合的に検討する「第4回赤倉地区内水対策事業連絡調整会議」を、昨年12月に開催しました。（小国川だより第41号にも掲載）

山形県（河川）では、この会議の検討を受け、排水路と直接河川へ流す排水樋管等の工事を2月から着手しており、現在、早期完成を目指し、急ピッチで工事を進めています。



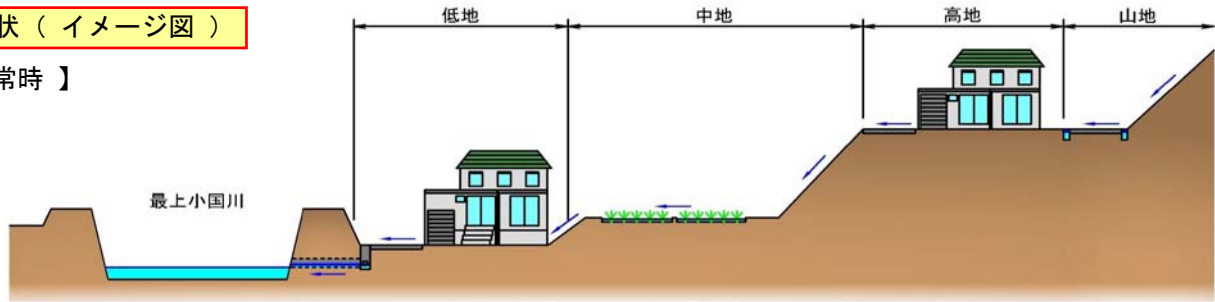
急ピッチで進む内水対策工事
（最上町赤倉地区）

赤倉地区の内水と対策のしくみについて

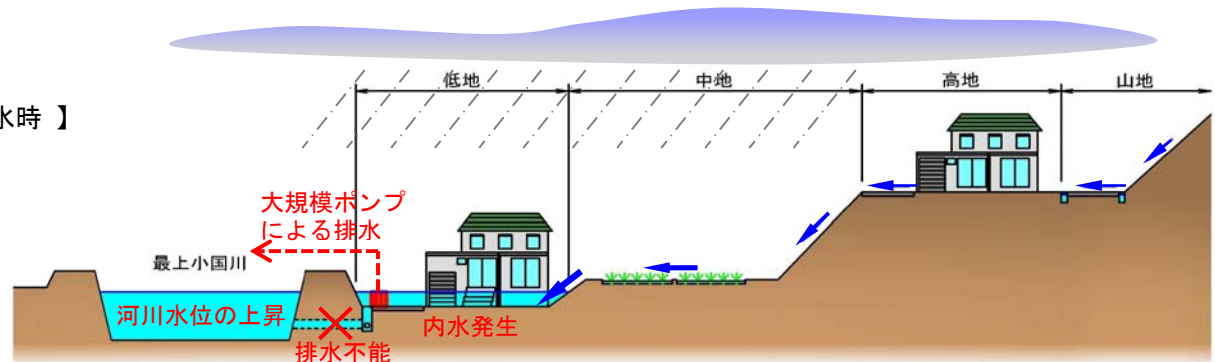
表ページの内水対策工事の状況に続いて、内水の現状とその対策のしくみについて、イメージ図でご紹介します。

現状（イメージ図）

【 平常時 】



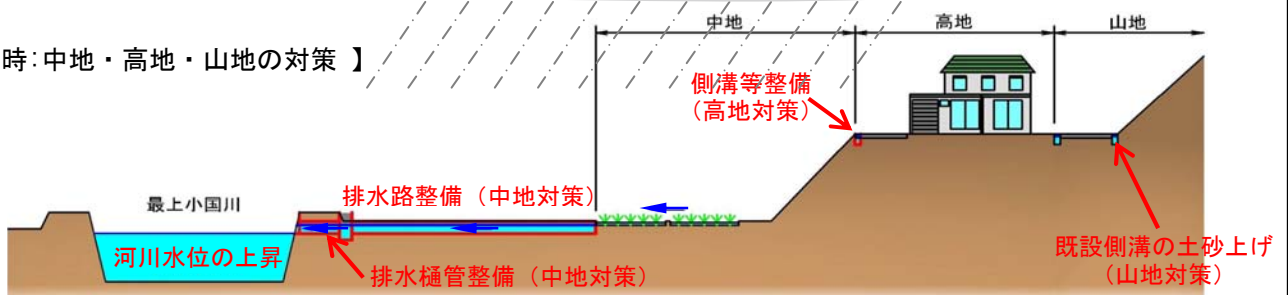
【 洪水時 】



- ・ 低地の地面の高さが洪水時の河川水位より低いため、自然排水できなくなり低地・中地・高地・山地に降った雨水が低地に流れ込み低地に内水が発生します。この内水を排水するために大規模なポンプを内水発生の際に持ってきて排水を行っています。

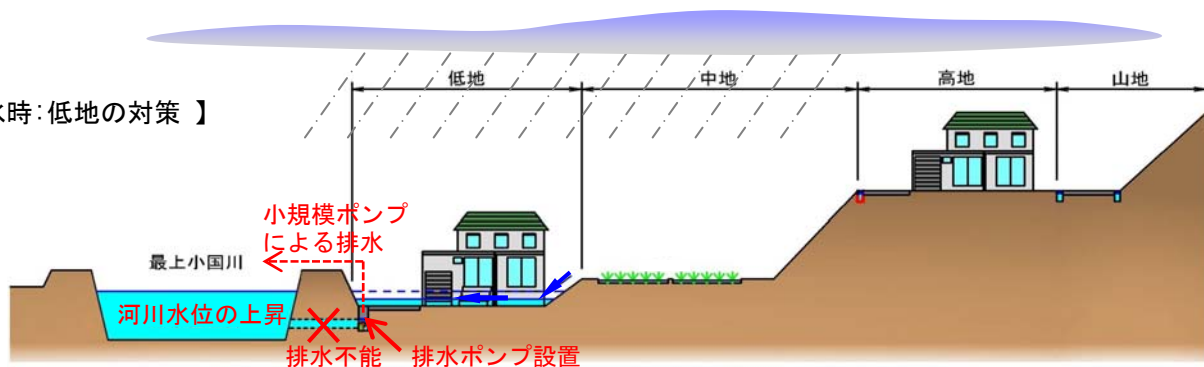
対策後（イメージ図）

【 洪水時：中地・高地・山地の対策 】



- ・ 中地に降った雨水は、排水路を整備し、さらに河川水位よりも高い位置に排水樋管を整備し河川へ排水します。
- ・ 高地に降った雨水は、側溝等を整備し、さらに河川水位よりも高い位置に排水樋管を整備し河川へ排水します。
- ・ 山地に降った雨水は、既設側溝から水が溢れて低地に流れて行かないように既設側溝の土砂上げを行います。

【 洪水時：低地の対策 】



- ・ 低地の地面の高さが洪水時の河川水位より低いため、低地に降った雨水が河川に自然排水できなくなり低地に内水が発生します。この内水を小規模な常設ポンプにより河川へ排水します。

発行：山形県 最上総合支庁 建設部 河川砂防課 最上小国川ダム建設室 早坂・庄司
〒996-0002 山形県新庄市金沢字大路上 2034
お問合せ先 電話 0233-29-1407 Email - 【前画面を参考にしてください】

バックナンバーは県HPからダウンロードできます。アドレスは下記のとおりです。

http://www.pref.yamagata.jp/regional/mogami_bo/news/news/7314074ogunigawa_news.html